

カキの幹に薬剤塗布する新しい防除法

夏季に集中する防除作業は、高齢者に大きな負担となっています。また、近年の農薬飛散の問題も重なり、管理放棄園が県内で急増しています。

そこで、カキの重要害虫「フジコナカイガラムシ」を対象に、薬剤を樹幹部に塗布する新しい防除法を検討しました。

1. フジコナカイガラムシによる被害



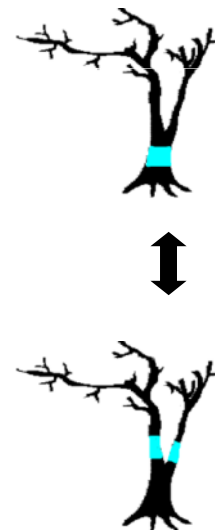
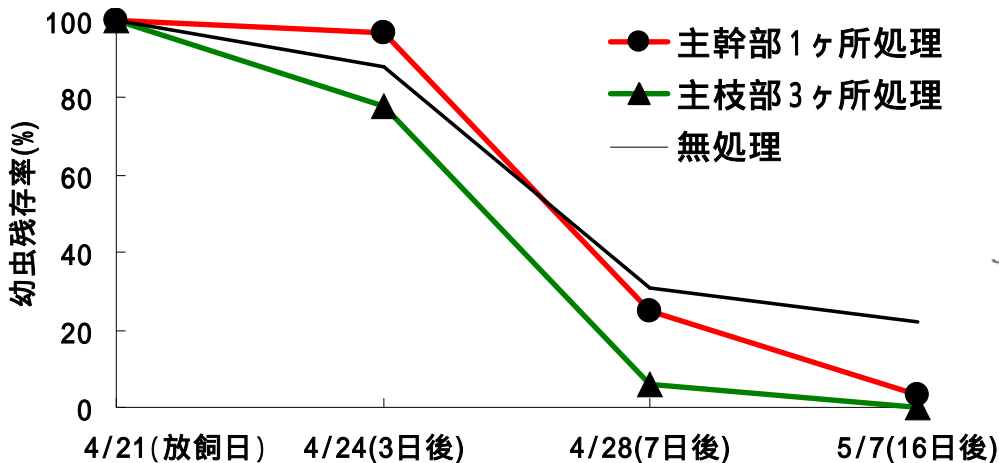
防除が難しく
商品価値が
著しく低下します

2. 樹幹塗布の様子



高齢者や女性でも
手軽に作業できます

3. 処理部位による効果比較



(研究成果)

- ・主幹部1ヶ所より主枝部3ヶ所に処理することで、フジコナカイガラムシに対し、より高い防除効果が得られます。
- ・薬剤の処理は農閑期の3月に行うため、作業分散に役立ちます。
- ・薬剤の散布むらやほ場外への飛散が回避できます。
- ・本使用法については、ジノテフラン顆粒水溶剤で平成21年9月に登録拡大されました。
- ・他の害虫に対する効果についても、検討中です。